




テラスハウス保育園

夏のような日もあれば、風が冷たく、どこか肌寒い日もあり、気温差が激しく不安定な日々が続いています。これから梅雨の時期に入ります。梅雨の時期は、温度・湿度ともに高く、じめじめとした環境で体調を崩しやすくなります。子どもの体調に気を配り、元気に過ごせるようにしていきたいですね。



園の様子

5月は風邪などで体調を崩されてお休みされるお子さんがおりましたが、6月に入り、欠席が減り、元気な顔が揃うようになりました。



6月の保健行事

15日(水) 身体計測

元気っこ教室「はみがきをしよう！」

あおば組、わかば組で歯磨きの元気っこ教室をしました。

「歯みがきをしないとムシばい菌が歯を真っ黒にってしまうよ。」と手袋シアターを使って伝えました。その後、「歯磨きをしてばい菌をやっつけよう！」と歯磨きの練習をしました。

先日の歯科検診の問診表で「歯磨きを嫌がります。」という記載が多数ありました。園でも食後、歯磨きをする習慣をつけていきます。ご家庭でも歯磨きが習慣化されるといいですね。



しっかり聞いてくれました

さあ 歯をみがくよ。
しゃかしゃか…音してる？



仕上げみがき中



ぶくぶくうがい 上手!!





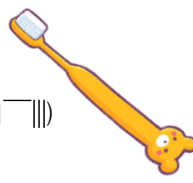
歯のこと、食べる事、

チェックしてみませんか？

むし歯を予防するには・・・？

「歯みがき」だけでは、歯を守れないΣ(「口」!!!)

- ① 「歯みがき」でむし歯菌を減らす
 - ② 「だ液」がいっぱい出るように、歯ごたえのあるものも、しっかり食べる
 - ③ 「フッ素」などで、歯を強くする
 - ④ 定期的に、歯科で検診を受ける
- ①～④を組み合わせ、丈夫な“歯”にしよう!!



「だ液は、天然のクリーニング剤」

だ液は、99%は水で出来ていますが、残りの1%ほどに消化や殺菌、免疫成分があり、私たちの歯を虫歯から守り、刺激や乾燥から、守ってくれています。

パパ、ママ あのね ～ 反対咬合 ～

「受け口」や「下顎前突」ともいわれる。下の歯が、上の歯よりも前に突き出ている状態。

○知っておこう

- 物が上手に噛めない、発音が舌足らずになる（さ行・た行）、顎に痛みが出るなどの症状がある。



- 下顎が成長する前（3～6歳頃）に早めの治療をするのがおすすめ。
- 再発することもある・・・。治療後も定期検診で続けて様子を見てもらいましょう。

○なぜ、放置してはいけないの？

- ① 噛む力が不十分になる…“噛み切る”という動作が上手く行えないこともある。
- ② 言葉の発音が悪くなる…噛み合わせに隙間が出来る事が原因で、さ行やた行の発音が難しくなることもある。
- ③ 顎の関節に負担がかかり、「顎関節症」になりやすい
：下のあごは、前後左右の動きが自由に行えるようになっているが、反対咬合の場合、顎全体が固定されてしまうため、負担がかかりやすい。
- ④ 全身のバランスが悪くなる：下あごは、体のバランスを取る時に欠かせないもの。下あごが固定されるため、全身の骨や関節に負担がかかる事になる。